

**取組 1 2 地域を発展させる大学の充実**

**【担当所属：女子大学 県民健康科学大学 農林大学校】**

**1 現状**

専門的な知識・技能をもつ人材育成のため、県立の高等教育機関として3つの大学等を設置しています。

**(1) 県立女子大学**

生涯にわたり学び続け主体的に考える力を育むため、教育の質を確保するとともに、「国際化」と「地域貢献」を2本の柱として国内外で活躍できる人材の育成に努めています。



県立女子大学の講義

- ① 外国語教育の充実・グローバル人材の育成に対応した教育機能の整備（少人数教育、多数のネイティブ教員、最新鋭の学習システム、全国トップレベルの海外留学支援、外国語教育研究所設置等）
- ② 真の国際化に対応しうる日本語教育や教養教育の充実（日本語表現プログラムの新設、総合教養学科の新設、群馬学センター及び地域日本語教育センターの設置等）
- ③ 各分野の第一線で活躍する講師の招聘（駐日大使、NGOリーダー、地元企業経営者、国際社会で活躍する女性等）
- ④ 地域に根ざした研究・教育活動の展開（自治体、企業、福祉施設等と連携したフィールドワーク、企画・開発、ワークショップ開催等）
- ⑤ 学生が卒業後の社会的、職業的自立を図るために必要な能力を培う支援活動の実施（キャリアプランニング関連科目の開講、進路支援事業、進路情報室等）

**(2) 県民健康科学大学**

未来の社会を支え、よりよいものにしていくため、豊かな人間性と専門的な知識・技術をもち、様々な側面から保健医療を考え、自立して判断し行動することができる保健医療専門職（看護師、保健師、診療放射線技師）を養成しています。



診療放射線学部の実習

平成21年4月に、近年における医療技術の高度化・専門化や、県民の医療に対するニーズの多様化に対応して、より高い専門性を有し指導的役割を担う人材を養成するため、大学院（修士課程）を開設しました。

また、平成24年4月に、地域貢献活動を行う組織として「地域連携センター」を開設し、大学が有する人的資源や研究成果を、県民をはじめ、広く教育機関、医療従事者、行政等にフィードバックしていくための取組を行っています。

**(3) 農林大学校**

本県唯一の公立農業系高等教育機関として、本県農業を担う人材を育成するため、就農者を養成する「農業経営学科」と農林業関連団体等への就職を目指す「農業ビジネス学科」の2学科を設置し、農林業後継者や農林業関連産業の従事者を養成しています。



農林大学校の実習

一方、農業回帰を志向する中高年者の就農や他産業から農業への新規参入に対するニーズに応えるため、就農に必要な農業技術の研修を行う「ぐんま農業実践学校」を研修部に設置し、農林部においても社会人を対象とした社会人コース（1年制）を設け、多様な担い手育成に取り組んでいます。

**2 課題**

**(1) 県立女子大学**

- ① 急速な社会の進展や変化する県民のニーズに適切に対応するため、各学部・学科の特色を生かした教育内容や方法の一層の工夫、改善を図ること
- ② 学生の卒業後の社会的、職業的自立を促進するための進路支援の体制を充実させること
- ③ 真の国際化や地域貢献を図るため、地域志向性を重視した教育・研究を一層進めること

**(2) 県民健康科学大学**

- ① 社会の変化や技術の高度化・専門化に対応し、社会の発展を支えることのできる、より高い専門的知識や技術・技能をもった人材を育成すること
- ② 大学における知的財産や研究成果等を県民をはじめ、教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に還元することにより、県民福祉の向上に広く寄与すること

**(3) 農林大学校**

- ① 公立農業系高等教育機関として、即戦力となる農林業の担い手を育成すること
- ② 非農家出身者や普通高校等農業系高校以外からの入校者の増加、大学・短大卒業生の入校者等、多様化する入校者ニーズに応える教育を実施すること
- ③ 農業回帰を志向する中高年者・農業への新規参入を目指す社会人等、多様な担い手を育成すること

### 3 取組の方向

#### (1) 県立女子大学

- ① 国際社会で活躍できる女性リーダーの育成を目指し、英語によるコミュニケーション能力を高める教育の充実を図ります。
- ② 早期から進路について考える機会を提供し、様々な進路支援事業を実施します。
- ③ 群馬学の確立とその深化・継承や、多文化共生のための日本語教育の実践・研究の拡充をはじめ、各学部・学科において地域に根ざした教育・研究を進めます。

#### (2) 県民健康科学大学

- ① 「何を教えるか」よりも「何ができるようになるか」を重視した教育を行い、専門的知識・技術及び高い倫理的判断力を身に付けた職業人や高度専門分野を担う人材を育成します。
- ② 大学の研究成果等を、広く県民に情報提供するとともに、県内の医療現場や地域における課題解決に向けて大学が果たす役割を積極的に提示します。

#### (3) 農林大学校

- ① 農林業に関する体系的なカリキュラム編成により、本県の次代を担う農林業後継者、農林業関連産業の従事者を育成します。
- ② 時代の変化に対応できるマネジメント能力や行動力を養成します。
- ③ 雇用就農を目指す学生の増加等、多様なニーズに対応したカリキュラム編成により、農業の基礎技術・知識習得を促進します。
- ④ 多様な担い手を育成するため、農業回帰を志向する中高年者や新規参入を目指す人の円滑な就農を支援します。

### 4 主な取組内容

#### (1) 県立女子大学

- ① ネイティブ教員を中心とした英語の少人数教育を提供し、英語運用能力の評価方法としてTOEIC(Speaking & Writing)を導入します。
- ② 外国語教育研究所における外国人研究員を活用した英語指導や海外留学等への支援を一層充実します。また、海外留学奨励金等、海外留学支援プログラムを展開します。
- ③ 学生と企業のマッチング支援を行うキャリアアドバイザー制を導入します。
- ④ 地域でのフィールドワークや地元企業・福祉施設等と連携した教育、研究活動を進めます。

#### (2) 県民健康科学大学

- ① 豊富な臨床経験と高い研究能力を兼ね備えた教員が、少人数を単位とした実習や実技指導に重点を置いた教育を展開します。
- ② 看護学教員の養成、県立病院との連携事業、看護職への研究支援、放射線教育に関わるセミナーや教育支援、MRIを用いた撮像技術向上のための研修会、県民向け公開講座等による教育普及活動等、地域貢献活動を推進します。

#### (3) 農林大学校

- ① 生産から流通・販売にいたるまでの理論（講義）と実践（実習）を有機的に結び付けた実践教育を実施します。
- ② 学生1人1課題の課題研究に取り組み、問題解決能力の向上を図るとともに、生産技術に加え農産加工・直売等、先進農林家体験学習の受入先を充実させます。
- ③ 農業経験の乏しい入校生の基礎的な知識・技術の早期習得を図り、その後の新技術等の習得につなげます。また、農業法人協会との連携を進め、雇用就農に係る就農先の確保に努めます。
- ④ ぐんま農業実践学校の運営を充実させ、中高年者等を対象に農業の知識・技術の習得に向けた研修を実施します。また、社会人コース（1年制）での就農支援を促進します。

### 5 達成目標

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) 県立女子大学の「群馬学連続シンポジウム」来場者累計数 (H16～)	10,969人(～H24)	14,000人(～H30)
(2) 県民健康科学大学における国家試験合格率		
保健師国家試験	100.0%(H24)	100%
看護師国家試験	100.0%(H24)	100%
診療放射線技師国家試験	94.3%(H24)	100%
(3) 農林大学校の卒業生が就農又は農林業関係産業に就職する割合	70.0%	80%

### 6 教育委員会と連携した取組

- (1) 外国語教育研究所における高校連携英語授業や小学校英語活動への支援の充実を図っています。  
(県立女子大)
- (2) 県内の全大学等、県及び全市町村にて「ぐんま地域・大学連携協議会」を組織し、相互に交流を深め協働し、地域は地域活性化策に大学の知等を活かし、大学等は特色ある教育・研究活動と地域貢献を推進しています。  
(新エネルギー推進課)
- (3) 農業について興味・関心のある県内高校生に、現在抱えている農業の諸問題や未来像等について考える機会を提供するため、先進農家の見学や農林大学校生との意見交換等を実施し、将来農業を担う人材の育成と確保に役立てています。  
(技術支援課)

